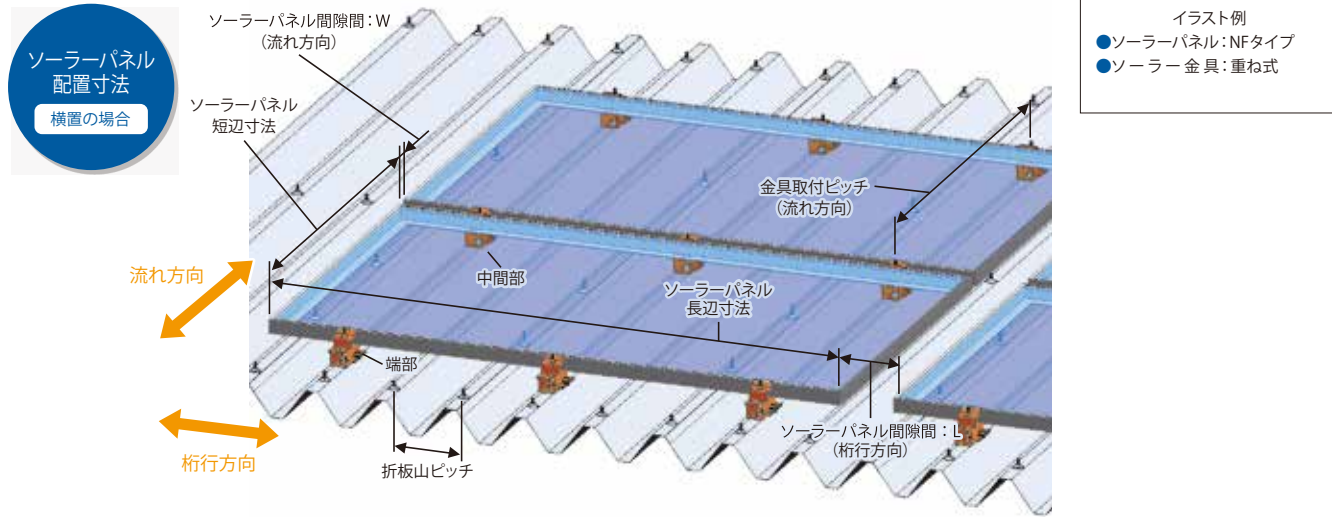


各部取合い寸法

直付工法 (重ね式)



イラスト例
 ●ソーラーパネル: NFタイプ
 ●ソーラー金具: 重ね式

※ソーラーパネルメーカー様にて隙間の指定がある場合は、その指定に準拠してください。

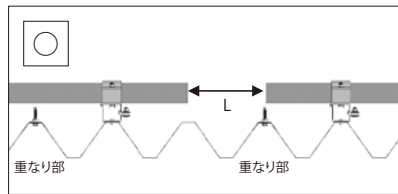
ソーラーパネル間隙間 (桁行方向) : L

左右対称配置の場合 桁行方向 (最小寸法) : $L = \{ \text{折板山ピッチ} \times (\text{ソーラーパネル長辺寸法} \div \text{折板山ピッチ}) \} - \text{ソーラーパネル長辺寸法}$

↓
 小数点以下切り上げて整数にする

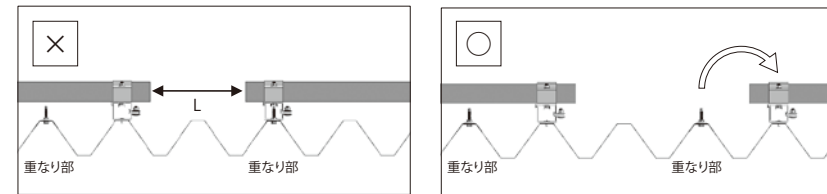
【計算式で対応できる例】

●ソーラー金具が折板重なり部に該当していない。



【計算式で対応できない例】

●ソーラー金具が折板重なり部に該当する場合は、ソーラー金具を折板1山分ずらしてください。



偏心配置の場合

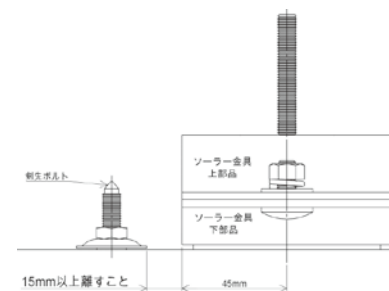
隙間は、屋根・建物・ソーラーパネルの強度・耐久性を考慮し、ソーラーパネルメーカー様の設置 (配置) 仕様 (条件) に準拠した上で、お客様にて決定してください。

※最小寸法が5mm未満の場合は、折板山ピッチを加算してください。また、ソーラー金具が折板重なり部に該当する場合は、ソーラー金具を折板1山分ずらしてください。

ソーラー金具取付ピッチ (流れ方向)

流れ方向 = ソーラーパネル短辺寸法 + ソーラーパネル間隙間 (流れ方向) : W (40mm)

※ソーラー金具 (上部品・下部品) を屋根に取付ける際、剣先ボルトなどの障害物から15mm以上離して取付けてください。



設置条件について

①ソーラーパネル固定方法: ソーラーパネルフレーム押さえ固定 4又は6又は8箇所留 (ソーラーパネル1台あたり)

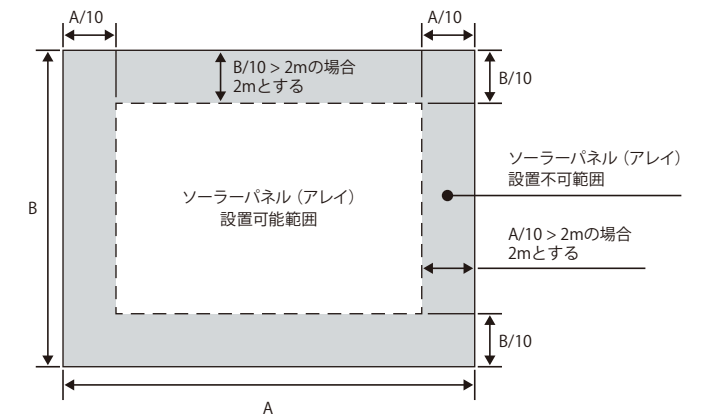
②ソーラー金具固定方法: ブラインドリベット* 2箇所固定 (ソーラー金具1個あたり)

③屋根なり設置 (屋根置き形): アレイ面 (屋根面) = 屋根傾斜 = 設置 (傾斜) 角度

※ブラインドリベットを打込む際、専用のアタッチメントリッター@R03i (株式会社ロプテックファスニングシステム社製) が必要です。

屋根設置について (ソーラーパネル設置可能範囲)

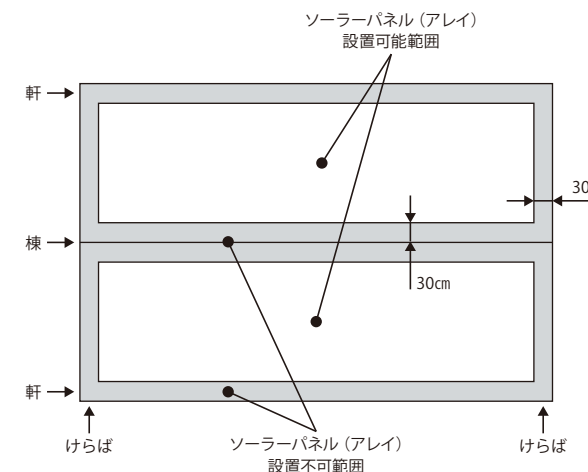
◇屋根勾配 (屋根面) 0° 以上 10° 未満
 設置対象屋根 (建物):
 陸屋根・片流れ・切妻屋根の閉鎖型建築物



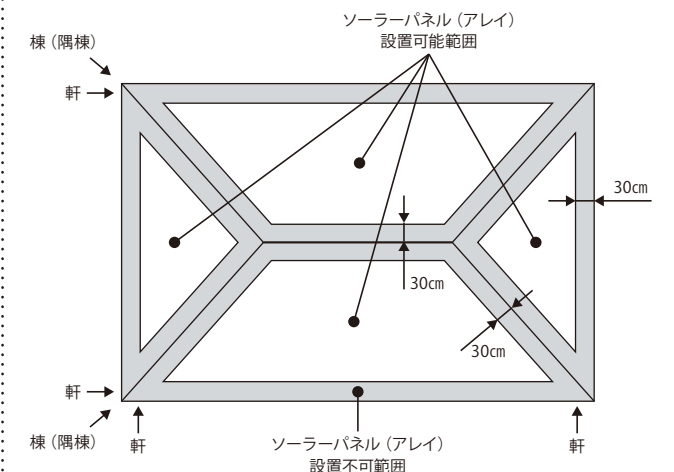
①アレイ (ソーラーパネルおよび金具・架台) を上記の設置対象屋根 (建物) の屋根周辺部 (外周のこと。屋根端部からそれぞれ辺長の10%以内の範囲とする。ただし、辺長の10%が2mを超える場合は2mとする。) へ陸屋根設置で設置する場合は、JIS C8955:2017の適用外です。

◇設置 (傾斜) 角度10° 以上40° 以下
 設置対象屋根 (建物): 切妻・寄棟屋根の閉鎖型建築物

■切妻屋根



■寄棟屋根



①上記の設置 (傾斜) 角度内で、アレイ (ソーラーパネルおよび金具・架台) を、上記の設置対象屋根 (建物) の屋根周辺部 (軒・けらばおよび棟から30cm以内の範囲) へ屋根置き形 (勾配屋根設置) で設置する場合は、JIS C 8955:2017の適用範囲外です。

②以下のような寄棟屋根へのソーラーパネルの設置の場合は、この設置条件の対象外です。別途、お問い合わせください。
 ・屋根表面とソーラーパネル下面との最大距離dがd>50mmとなる寄棟屋根の端部ソーラーパネルを設置する場合

■: 端部モジュール
 寄棟屋根の端部ソーラーパネル

